



「ここが入り口」大川小の児童遺族が語り部活動

大川小遺族語り部活動

次回 7月23日予定

後で見る

共有



見る YouTube

「ここが入り口」大川小の児童遺族が語り部活動〈宮城〉

2023-06-18 18:14:01

東日本大震災の津波で児童74人教職員10人が犠牲となった石巻市の大川小学校で、児童の遺族などが語り部活動を行いました。

石巻市の震災遺構、大川小学校では、児童の遺族などでつくる「大川伝承の会」が定期的に語り部活動を続けていて、18日は、県内外の約40人が参加しました。

当時6年生だった次女・みずほさんを亡くした佐藤敏郎さんです。

震災当時、この場所で起きていた状況を説明し、事前の備えの重要性を強調しました。

大川伝承の会・佐藤敏郎共同代表

「死なないためにやるのが防災です。ハッピーエンドなんですよ。山に登って助かった、よかったねと、みんなで喜び合う未来から逆算してください」

訪れた人たちは、遺族たちの言葉を聞き、防災への思いを新たにしていました。

参加した人

「今度からはハザードマップを見るだけでなく、震災が起きた時に、自分がどう行動すればよいか考えて周りの人に共有したい」

大川伝承の会・佐藤敏郎共同代表

「ここを入口にして、いろいろなことを考えてほしい。防災とか避難のこともそうですし、学校だったりまちづくりであったり、家族のことであるとか、いろいろなことを思いはせられるような、そんな場所にしていきたいし活動をしていきたい」

次回の語り部活動は、7月23日に行われる予定です。